

開講年度	令和 7 年度		開講課程	博士前期課程
授業名	基礎生体科学特論			
開講キャンパス	紀三井寺	教室	基礎教育棟 3 階講義室 2 中講義室 3 0 4	
科目区分	ベーシック科目	配当年次	1 年次	
必修・選択の別	選択	単位	1 単位	
対象学生	－	使用言語	日本語	
キーワード	遺伝学、細胞生物学、細胞内小胞輸送			
担当教員 （下線：科目責任者）	医	准教授 森田 強、 <u>教授 齋藤伸一郎</u>		
	薬			
授業の概要	生命医療科学研究の最も基本となる生物学及び細胞生物学の知識・実験技術等について、細胞の構造と機能、遺伝学、細胞周期の制御、恒常性の維持、小胞輸送などを中心に幅広く学び、基礎的知識を修得する。			
到達目標	☐ 生命医療科学研究の基本となる生物学の基礎的知識を修得する。 ☐ 細胞内における小胞輸送システムの重要性を高い知識レベルで理解する。			
授業計画	1． 2． 遺伝学（森田 強／2 回）【5/19 6限・7限】 3． 4． 細胞周期の制御（森田 強／2 回）【5/26 6限・7限】 5． 6． 恒常性の維持（森田 強／2 回）【6/2 6限・7限】 遺伝学、細胞周期の制御、恒常性の維持に関する基礎的な知識を修得する。 7． 8． 細胞内輸送システムと細胞生物学（齋藤伸一郎／2 回）【6/9 6限・7限】 細胞内で作られた物質や細胞外から取り込んだ物質を輸送する小胞輸送などの細胞内輸送システムについて講義する。			
授業の方法・形態	講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。			
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。			
成績評価の基準	授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の 5 段階で評価し、C以上を合格とする。			
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。			
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。			
教科書・参考書	【教科書】特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】授業計画 1 ～ 6 「Essential細胞生物学 原書第5版」 監訳:中村桂子、松原謙一、榊佳之、水島昇 出版社：南江堂			